

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 8日(木) 19時30～ 時		
市町村名	梓川村	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

県への質問

- ・ 将来の交通量の予測という資料にある「交通量の比較表」の数字はどのように読み取っていったらよいのか。
A : 1断面と2断面の現況と将来予測の交通量。
- ・ 梓川村で7千台ということでのよいのか。
A : 乗降があるということ。
- ・ Bルートの場合は既存の道路を利用して造るのか。
A : 新設で考えている。
- ・ 中部縦貫道の交通量を見込んで予測しているのか。
A : はい。
- ・ 中部縦貫道はできるのか。
A : できるという前提。
- ・ 梓川村で7千台ということだが、受け入れの道路整備はどうなるのか。
A : アクセス道路としての整備が考えられる。
- ・ 梓川村で7千台という数字がよくわからない。松本・豊科インターチェンジの乗り降りの数字はどうか示してもらいたい。
- ・ 観光客の人数は将来の交通量の予測に入っているのか。
A : はい。
- ・ 資料で見ると約8千台梓川村を通ることとなっているが、村の人口等を考えるとよくわからない。
- ・ 数字の予測は20年後の予測だからこのくらいの数字になってくるのでは。
- ・ 前回出席していないのでよくわからないが、この道路を造る前提でこの会を開いているのか。こういう資料を見せられると、道路を造る前提で開いていると思った。
- ・ 資料の「概略ルート検討」で示されているルートはすべて生きているのか。
A : いままで事務レベルで検討したデータ。
- ・ 通過を予想される市町村だけでなく、隣接している市町村の意見も聞くのか。
A : 聞いている。
- ・ 現段階での部分着工はあるのか。
A : 現在はまだ調査区間であり、着工は整備区間になってから。

意見交換

- ・ どうもこの会は言っぱなし、聞きっぱなしのようだ。資料の内容も難しすぎてよくわからない。
- ・ 道は大事だと思うが、この道は本当に必要なのかと思う。小谷の方は大変な道ばかりなので必要だが、大町からこちらの方は本当に必要なのか疑問だ。
- ・ データとか資料だとかより、この道が本当に必要なのか考えたい。
- ・ 山などを削ってまで道を作るのがよいのか、この計画の前提を考えたい。前提が無く資料を見せられてもよくわからない。
- ・ 前回の資料の末尾にあった環境についての資料が今回は無い。
- ・ 既存の道を最大限利用して造ってほしい。
- ・ この道路を通したことによってどのような効果が得られるのか考えていったらよいと思う。

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 4日(木)	19時30～21時00
市町村名	梓川村	グループ名
メンバー	(:司会、 :記録者)	

- ・ 資料を見てもよくわからないが、一般的に見てこのままでよいのか考えてほしい。現状のまま
で20年、30年持つかどうか、ある程度利便性も考えていかなければならない。
- ・ 反対意見は地元よりも他から来た人がほとんどだ。
- ・ その人たちの方が安曇野の良さをわかっているのでは。
- ・ 高速道路の無いところはほとんど渋滞している。安曇野もそうだ。
- ・ 大町までが大変だから大町まで造れば良いというが、途中まで造って先はよいというのはどう
か。
- ・ 道路をあけるのは賛成。しかし、糸魚川から大町まではよいと思うが、安曇野の平坦地にくる
と優良農地を潰さなければならぬ、そのところが問題だ。
- ・ 小さい道もすべて接続しなければ意味が無いと思う。
- ・ 道を作るには税金を使うのだから、いろいろな意見を広く聞いてほしい。
- ・ 高規格道路が本当に必要かといえば、私は必要だと思う。しかし、それを押し付けるつもりは
ない。
- ・ 道路をあけるのは賛成。しかし、糸魚川から大町まではよいと思うが、安曇野の平坦地にくる
と優良農地を潰さなければならぬ、そのところが問題だ。
- ・ 小さい道もすべて接続しなければ意味が無いと思う。
- ・ 道を作るには税金を使うのだから、いろいろな意見を広く聞いてほしい。
- ・ 高規格道路が本当に必要かといえば、私は必要だと思う。しかし、それを押し付けるつもりは
ない。
- ・ 道は必要だと思うが、本当に私たちの家の前を通ることになれば強く必要だとは言えない。だ
が、公共性を考えればどうなのかわからなくなる。
- ・ 道は必要だと思うが、付随する諸問題を考えれば強ちに必要だとは言えない。
- ・ 梓川村だけを考えればまったく必要ないと思う、農地を潰してまでいらない。
- ・ 緊急車両の通行、また災害時のことを考えればどうなのか。
- ・ この意見交換会は住民だけではなく、行政の意見はないのか。
- ・ 工事が始まれば、両側(新潟と長野)から着工するのか。
- ・ この道路が山麓線に来て梓川村に入ったとき、梓川村が駄目だといえば計画を曲げるのか。こ
れは仮定で聞いている。
- ・ 新潟から道路を造ってきて長野は造らなければ、長野に入った車をどう処理するか考えなけれ
ばならない。現道の拡幅は非常に困難であると思う、そうなれば通過車両はこの計画道路を使
ってもらい、現道は今までどおり使ったらよいと思う。
- ・ 予算が付くのなら、小谷の方を優先的に造ってこちらの方は20年、30年後の交通量を見て
考えればよいのでは。
- ・ 経済優先も大事だと思うが、自然や心も大事にしてほしい。これ以上自然を破壊して経
済を優先して行くことが本当によいのか疑問に思う。自然が豊かだった頃は心も豊かだった。
どれだけやれば満足するのか。私は安曇野の自然を大事にしてほしい、他から来る
人はその自然に憧れて来ると思う。本当によく考えて本当に必要なところへお金を使うよう
に考えてほしい。私はこの会の前に女性ばかりだが20代から30代の人にこの道に
ついて聞いたが皆さん「いらぬ」と言っている。

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 4日(木) 19時30～21時00		
市町村名	梓川村	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- ・ 私もいまの意見にまったく賛成。道路は山麓線を大改修するべきだ、それで十分だ。私はこの計画に大反対だ。今は道路を造って経済効果がどうだとかという時代ではないと思う。
- ・ 現在の道でも広げられる道路があると思う。既存の道路を計画に利用してもらいたい。
- ・ 今日は良いデータ(資料)を出してもらった。安房トンネルが開通して波田町の国道が大渋滞になっている。このデータによると既存の道路の交通量が減る、このことにより渋滞から以前の道路にもどり既存の道路が使いやすくなる。このように考えると、梓川村には高規格道路は必要だし今やる時期だと思う。
- ・ 私はオリンピック道路を4車線にすればよいと思う。
- ・ 既存の道路を広げるにも農地や住宅地を潰さなければならない。
- ・ 白馬は観光客が減ってきている、その人たちのことも考えていかなければならないと思う。
- ・ 20年、30年かけてやっとここまで来たのだからやるべきだ。
- ・ 20年、30年前は経済が急激に発展していた頃だから、今とは違うのでは。
- ・ このような会は良いと思う、資料は十分出してもらい広く意見を聞いてもらいたい。

次回の開催について

- ・ 次回については、他の町村の状況を聞いてからでもよいのでは。
- ・ 今日のような一部の人で意志統一しても意味がない。
- ・ このことについていかに関心が無いということだ。
- ・ 意見は出し尽くしたのではないか。
- ・ 状況が変わればまた開いてもらいたい。